



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立美しが丘緑学校

読書センターとしての機能

□「きらめき読書」

朝のきらめきタイムでは、全校児童が読書を行っています。8:25～8:35は、子どもも教師も一緒に集中して読書をする時間です。

「きらめき読書」は、読書に親しむきっかけづくりや心の落ち着きを生み出す時間となっています。



□「全校読み語り・朝の読み語り」

年に2～3回、開放図書館の司書さんと図書ボランティアの皆さんが、全校一斉の「読み語り」をしていただきます。大型紙芝居や人形劇に子どもたちは大喜びです。

PTAの係の方が、「朝の読み語り」をしていただきます。簡単なブックトークもしていただき、いろいろな本に触れる良い機会となっています。

学習センターとしての機能

□「ブックトラック」

ワークスペースのブックトラックには、調べ学習に活用したり、読書の幅を広げたりする本がならんでいます。

開放図書館の司書さんと図書ボランティアの皆さんが、季節や単元の内容に合わせて、本を入れ替えてくださっています。



□「5年国語『みんなが使いやすいデザイン』」

身の回りのユニバーサルデザインについて、調べたいテーマを決め、図書館やインターネットで情報を集めました。集めた情報を整理して、調査報告文にまとめています。

調査報告文は、友達と読み合って感想を伝え合いました。

情報センターとしての機能

□「本の紹介コーナー」

開放図書館の司書さんが、教科書で紹介されている本や季節に関係する本を紹介するコーナーを設置しています。

子どもたちが、学習を深めたり、四季の移り変わりを感じたりすることができるコーナーとなっています。



□「北海道関連の図書 地域関連の図書」

地域に関連した図書を揃えることで、主に社会科や理科、総合的な学習の時間において、情報を収集したり活用したりする能力を育成する場となっています。

「こどもたちに読んでほしい200冊」や北海道の童話、アイヌの本が並んでいます。